

日本留学を準備していますか？

劉 天一

人生の話はしたくありません。現実的なことを話したいと思います。本を読めばためになることを原則とし、植付け教育は絶対反対です。

2009年、花が咲く暖かい春の時、南方航空の旅客機に乗って日本に来ました。空港から宿舎へ入居まで校長と丁先生が案内してくれました。国際電話カード(無料ではない、笑い)も渡されたことに感謝します。このように留學生活が始まりました。

宿舎

当時、私は駒込学生寮に入居しました。山手線沿線で交通が便利、環境が優雅でよい地域であります。ただ、宿舎の中は普通。しかし、値段と居住条件は比例しているし、なお、私は隠居しに来たわけではないから、結構満足しています。学校へ行くには電車で10分程度、自転車では15分程度の距離です。電車だったらお金がかかりますが、日本の電車文化を体験するのもよいでしょう。電車文化(中国とかなり違う)って何か、ここでクライマックスをとっておこう、来てみたらわかりますね。

学校

学校は北区王子駅から徒歩約5分、大きくないがすべて揃っています。一階は事務所と教務室、何があったらすぐ尋ねることができます。丁先生、日本語の各先生、校長は親切に対応(感情問題まで)してくれます。二階、三階と六階は教室、五階は日本人学生の塾と事務室です。特に触れておきたいのは、六階と二階は教室ですが自習室として使ってもよいし、夜9時まで開放しています。

授業

授業については言うまでもないことですが、自分の体験を言っておきましょう。私は毎日学校に行きますが、ヒアリングがよくなった、会話力もよくなった、一年半が過ぎたら前よりも頭もよくなった、まるで旅行するには良い薬を用意することができた感じ@ (日本語先生の授業は上手)。

留学

留学はどういうものか？海外で勉強するのが留学と呼ばれるのですか？違います。留学の真の意味は違う文化間の交流ではないでしょうか。例えば、日本人は刺身を食べる、中国人は煮魚を食べる、日本人は線路での自殺が好き、中国人は自殺より勝手に生きればよい等。このように違うものの発見から体験する、更に理解するこのようなプロセスを踏むことが違う文化間の交流と称するのではないか。ですから、私は交流しに来たと言えます。あるところを紹介したい。王子には中央図書館がありますが、その裏には文化会館があり、その中には日本語サロンがあります。そこには外国人と日本人が一緒になっておしゃべりするところがあります。正月の時には、列ができそうで、異国のイベントプログラムの見聞ができます。(ビンゴゲームの時、僕の人生の中で初めて一等賞「ワイン一本」をもらったよ)

大学、大学院受験

個々人の来日目的は違います。進学したい人は下へ進み、面白い内容を読んでください。進学したくない人は読まなくて結構です。受験は気力の練磨でしょう。ドアを閉めて何か月修練すればだれも進学ができるものです。自分の経験を披露しましょう。私は、平民、背が低い、やせ形、非典型の栄養不足なので、頭が悪いです。小学校から成績は中の下で、中国では二流大学に進学しました。卒業する時には、満足できず、なぜ人は背が高く、ハンサムで精華大学・北京大学に進学したのに、僕は背が低く醜く東華理工大学しか受からないということで、海外へ留学して有名大学に進学することにしました。僕ができることは人もできますが、僕は何をしていたのでしょうか。早稲田大学経済学研究科に進学しましたよ、どうだい？偉いだらう。実は君もできるから。試験は筆記試験と面接試験がありますが、筆記試験が合格したら面接試験はほぼ問題ないらしいから、君も筆記試験に頑張ってみなよ！筆記試験は経済学原理の基本知識ですが、ミクロ経済学とマクロ経済学でね、あるミクロ経済学の本は早稲田大学入学試験の聖書らしいよ、書名は「演習ミクロ経済学」武隈慎一著という。もしこの本の例題と練習問題を突破すれば、早稲田大学入学試験のミクロ経済部分は間違いないだらう。試して見たらどうだい？マクロ経済においては、聖書みたいな本がない。平素、できれば問題を集め、暇があれば経済学に関する書籍を読むしかないね。推薦したい本と言えは経済学の教科書と言われているアメリカ人N・Gregory Mankiw が書いた『経済学原理』という本なのだ。（この本は中国の歴史教師袁騰飛氏の「楽しく読めると共に大衆的にわかりやすい」という本に似ている）。もし試験前集中的に復習したい場合は《演習マクロ経済》という本を読んでください、前に触れた聖書と同じ系列のものです。最後はあなたの頑張り次第ですね。

では、これで終わりです。（進学したくなければ、素晴らしいことを味わえないでしょう）